

台風6号の接近に伴う対策について

令和8年 6月1日

J A全農ちば 営農支援課

台風6号が発生し、3日午前から4日午前にかけて北上・関東地方に接近する恐れがあります（1日9時時点）。台風による大雨・強風の影響で、圃場の冠水・作物の損傷・高温多湿による病害の発生が予想されますので、対策の徹底をお願いします。

1 台風対策について

(1) ビニールハウスなど施設の管理

強風によってビニールハウスが損傷する場合がありますので、台風接近前に以下の点をしっかりと確認しましょう。別添の「農業用ハウスにおける台風対策について」も参考に対策をしてください。

ア. ハウスを点検し、破損個所は補修を行う。

イ. 戸締りはしっかりと行い、出入り口の扉は強風で外れないよう点検する。

ウ. 外部と通じている部分（天窓・換気扇・出入り口など）はしっかりと固定する。

エ. 風に飛ばされたものがハウスを傷つける場合があるので、周辺の資材は片づける。

オ. 台風通過中に窓が開かないようにするため、自動開閉装置などは電源を切っておく。

カ. 台風通過後は、ハウスの損傷個所を確認し、ハウス内が高温になるため換気を行う。

※台風通過中は危険なため、外部で無理な作業を行わない。

(2) 土壌消毒中の圃場は強風により被覆資材が飛ばされないよう、覆土・重しの確認を行きましょう。

(3) 沿岸部では塩害の恐れがあるため、通過後に散水や下記の防除と併せて十分な水を散布することで除塩をお願いいたします。

(4) 果樹（梨）では多目的防災網の押え紐を補強しましょう。また棚揺れ防止のため、ブロックや土を入れた肥料袋と棚を紐で結んでおくなどの対策を取りましょう。

(5) 病害の防除

台風による強風で作物に傷がつき、さらに台風後の多湿・高温により病害が発生しやすくなります。露地栽培では圃場の排水を早く終えるために、排水路を作り排水を促しましょう。施設栽培ではハウスを閉め切るため非常に蒸れますので、台風通過後に換気が遅れないよう注意して下さい。

実際に施設が被害にあったら…

甚大な被害が起こった場合には、農林水産省等が支援対策を講じる場合があります。

支援対策をうける場合に、**災害状況がわかるような写真などが必要**になります。

復旧にむけて、一刻も早く片づけを始めたいた状況ではありますが、災害記録を残すようお願いいたします。

2. 防除について

降雨後は、病害発生リスクが高まります。必要に応じて治療剤を中心とした殺菌剤散布を実施しましょう。

(1) 施設栽培について

施設内の空気循環や換気を行い、多湿にならないようにしましょう。また、草勢が弱い場合には、摘果や茎葉の整理を行い草勢の回復に努めましょう。

○スイカ 炭：炭疽病・褐：褐色腐敗病・う：うどんこ病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|-------------|--------------|------------|-------|------|-------|
| 炭 | 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防・治療 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤 | 1500倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |
| 炭 ・ 褐 | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000倍 | 収穫3日前 | 5回以内 | 予防・治療 |
| 炭 ・ う | 7+11 | シグナムWDG | 1500~2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防・治療 |
| | | | 1500倍 | | | |
| う | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |

○メロン う：うどんこ病・べ：べと病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|-------------|--------------|-------|-------|------|-------|
| う | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 19 | ポリオキシシンAL水和剤 | 1000倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |
| う ・ べ | 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防・治療 |
| べ | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000倍 | 収穫3日前 | 5回以内 | 予防・治療 |

(2) 露地栽培について

土壌水分が過湿になると生育不良や草勢低下が起こりやすくなります。また、育苗中の作物（ネギなど）も多湿になると病害が発生しやすくなります。多湿にならないよう排水対策を行いましょう。

○未成熟トウモロコシ すず紋病・紋枯病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|------|-------------|-----------|-----------------|--------|------|-------|
| すず紋病 | 3 | トリフミン水和剤 | 2000~4000倍 | 収穫7日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| | 14 | リゾレックス水和剤 | 1500倍 | 収穫14日前 | 2回以内 | 予防・治療 |
| 紋枯病 | 3 | モンガリット粒剤 | 6kg/10a 株元散布 | 収穫7日前 | 2回以内 | 予防・治療 |

緊急営農情報

○ジャガイモ 疫病

| 対象 病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|----------|-------------|-------------|-------------|----------|-------|-------|
| 疫病 | 21+27 | ダイナモ顆粒水和剤 | 2000～3000 倍 | 収穫 7 日前 | 4 回以内 | 予防・治療 |
| | 40+M1 | フェスティバルC水和剤 | 400～600 倍 | 収穫 14 日前 | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | 4+M3 | リドミルゴールドMZ | 500～1000 倍 | 収穫 30 日前 | 1 回 | 予防・治療 |
| | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 750～1000 倍 | 収穫 7 日前 | 5 回以内 | 予防・治療 |
| | 40 | レーバスフロアブル | 1500～2000 倍 | 収穫 7 日前 | 2 回以内 | 予防・治療 |

(3) 果樹（ナシ）について

別添「大雨・強風・降ひょうに対する農作物の技術対策について」（千葉県農林水産部担い手支援課）を参考に栽培管理・技術対策を実施してください。

3. 園芸作物施肥（樹勢回復）

低温や日照不足により樹勢の低下が見られた場合は、天候が回復次第、葉面散布を実施して樹勢の回復に努めましょう。

液肥例：ポリコープ2号 : 4－6－6＋微量要素、400～600倍

キャッチアップ2号 : 15－30－15＋微量要素、400～500倍

野菜の達人 : 15－14－10、1000倍

ア. 5～7日おきに2～3回程度、継続的に散布しましょう。

イ. 高濃度の散布は避け、気温の低い午前中に散布しましょう。特に高温（25度以上）、著しく樹勢が低下している場合は濃度を薄くしましょう。

（1回の高濃度散布より樹勢が回復するまで継続的に散布することが大切です）

ウ. 新葉を中心に葉の裏にかかるよう散布しましょう。

台風6号の接近に伴う対策について

令和8年 6月1日

J A全農ちば 営農支援課

台風6号が発生し、3日午前から4日午前にかけて北上・関東地方に接近する恐れがあります（1日9時時点）。台風による大雨・強風の影響で、圃場の冠水・作物の損傷・高温多湿による病害の発生が予想されますので、対策の徹底をお願いします。

1 台風対策について

(1) ビニールハウスなど施設の管理

強風によってビニールハウスが損傷する場合がありますので、台風接近前に以下の点をしっかりと確認しましょう。別添の「農業用ハウスにおける台風対策について」も参考に対策をしてください。

ア. ハウスを点検し、破損箇所は補修を行う。

イ. 戸締りはしっかりと行い、出入り口の扉は強風で外れないよう点検する。

ウ. 外部と通じている部分（天窓・換気扇・出入り口など）はしっかりと固定する。

エ. 風に飛ばされたものがハウスを傷つける場合があるので、周辺の資材は片づける。

オ. 台風通過中に窓が開かないようにするため、自動開閉装置などは電源を切っておく。

カ. 台風通過後は、ハウスの損傷箇所を確認し、ハウス内が高温になるため換気を行う。

※台風通過中は危険なため、外部で無理な作業を行わない。

(2) 土壌消毒中の圃場は強風により被覆資材が飛ばされないよう、覆土・重しの確認を行きましょう。

(3) 沿岸部では塩害の恐れがあるため、通過後に散水や下記の防除と併せて十分な水を散布することで除塩をお願いいたします。

(4) 果樹（梨）では多目的防災網の押え紐を補強しましょう。また棚揺れ防止のため、ブロックや土を入れた肥料袋と棚を紐で結んでおくなどの対策を取りましょう。

(5) 病害の防除

台風による強風で作物に傷がつき、さらに台風後の多湿・高温により病害が発生しやすくなります。露地栽培では圃場の排水を早く終えるために、排水路を作り排水を促しましょう。施設栽培ではハウスを閉め切るため非常に蒸れますので、台風通過後に換気が遅れないよう注意して下さい。

実際に施設が被害にあったら…

甚大な被害が起こった場合には、農林水産省等が支援対策を講じる場合があります。

支援対策をうける場合に、**災害状況がわかるような写真などが必要**になります。

復旧にむけて、一刻も早く片づけを始めたいた状況ではありますが、災害記録を残すようにお願いいたします。

2. 防除について

降雨後は、病害発生リスクが高まります。必要に応じて治療剤を中心とした殺菌剤散布を実施しましょう。

(1) 施設栽培について

施設内の空気循環や換気を行い、多湿にならないようにしましょう。また、草勢が弱い場合には、摘果や茎葉の整理を行い草勢の回復に努めましょう。

○スイカ 炭：炭疽病・褐：褐色腐敗病・う：うどんこ病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|-------------|--------------|------------|-------|------|-------|
| 炭 | 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防・治療 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤 | 1500倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |
| 炭 ・ 褐 | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000倍 | 収穫3日前 | 5回以内 | 予防・治療 |
| 炭 ・ う | 7+11 | シグナムWDG | 1500~2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防・治療 |
| | | | 1500倍 | | | |
| う | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |

○メロン う：うどんこ病・べ：べと病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---|-------------|--------------|-------|-------|------|-------|
| う | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 19 | ポリオキシシンAL水和剤 | 1000倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |
| う ・ べ | 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防・治療 |
| べ | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000倍 | 収穫3日前 | 5回以内 | 予防・治療 |

(2) 露地栽培について

土壌水分が過湿になると生育不良や草勢低下が起こりやすくなります。また、育苗中の作物（ネギなど）も多湿になると病害が発生しやすくなります。多湿にならないよう排水対策を行いましょう。

○未成熟トウモロコシ すず紋病・紋枯病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|------|-------------|-----------|-----------------|--------|------|-------|
| すず紋病 | 3 | トリフミン水和剤 | 2000~4000倍 | 収穫7日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| | 14 | リゾレックス水和剤 | 1500倍 | 収穫14日前 | 2回以内 | 予防・治療 |
| 紋枯病 | 3 | モンガリット粒剤 | 6kg/10a 株元散布 | 収穫7日前 | 2回以内 | 予防・治療 |

緊急営農情報

○ジャガイモ 疫病

| 対象 病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|----------|-------------|-------------|-------------|----------|-------|-------|
| 疫病 | 21+27 | ダイナモ顆粒水和剤 | 2000～3000 倍 | 収穫 7 日前 | 4 回以内 | 予防・治療 |
| | 40+M1 | フェスティバルC水和剤 | 400～600 倍 | 収穫 14 日前 | 3 回以内 | 予防・治療 |
| | 4+M3 | リドミルゴールドMZ | 500～1000 倍 | 収穫 30 日前 | 1 回 | 予防・治療 |
| | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 750～1000 倍 | 収穫 7 日前 | 5 回以内 | 予防・治療 |
| | 40 | レーバスフロアブル | 1500～2000 倍 | 収穫 7 日前 | 2 回以内 | 予防・治療 |

(3) 果樹（ナシ）について

別添「大雨・強風・降ひょうに対する農作物の技術対策について」（千葉県農林水産部担い手支援課）を参考に栽培管理・技術対策を実施してください。

3. 園芸作物施肥（樹勢回復）

低温や日照不足により樹勢の低下が見られた場合は、天候が回復次第、葉面散布を実施して樹勢の回復に努めましょう。

液肥例：ポリコープ2号 : 4－6－6＋微量要素、400～600倍

キャッチアップ2号 : 15－30－15＋微量要素、400～500倍

野菜の達人 : 15－14－10、1000倍

ア. 5～7日おきに2～3回程度、継続的に散布しましょう。

イ. 高濃度の散布は避け、気温の低い午前中に散布しましょう。特に高温（25度以上）、著しく樹勢が低下している場合は濃度を薄くしましょう。

（1回の高濃度散布より樹勢が回復するまで継続的に散布することが大切です）

ウ. 新葉を中心に葉の裏にかかるよう散布しましょう。